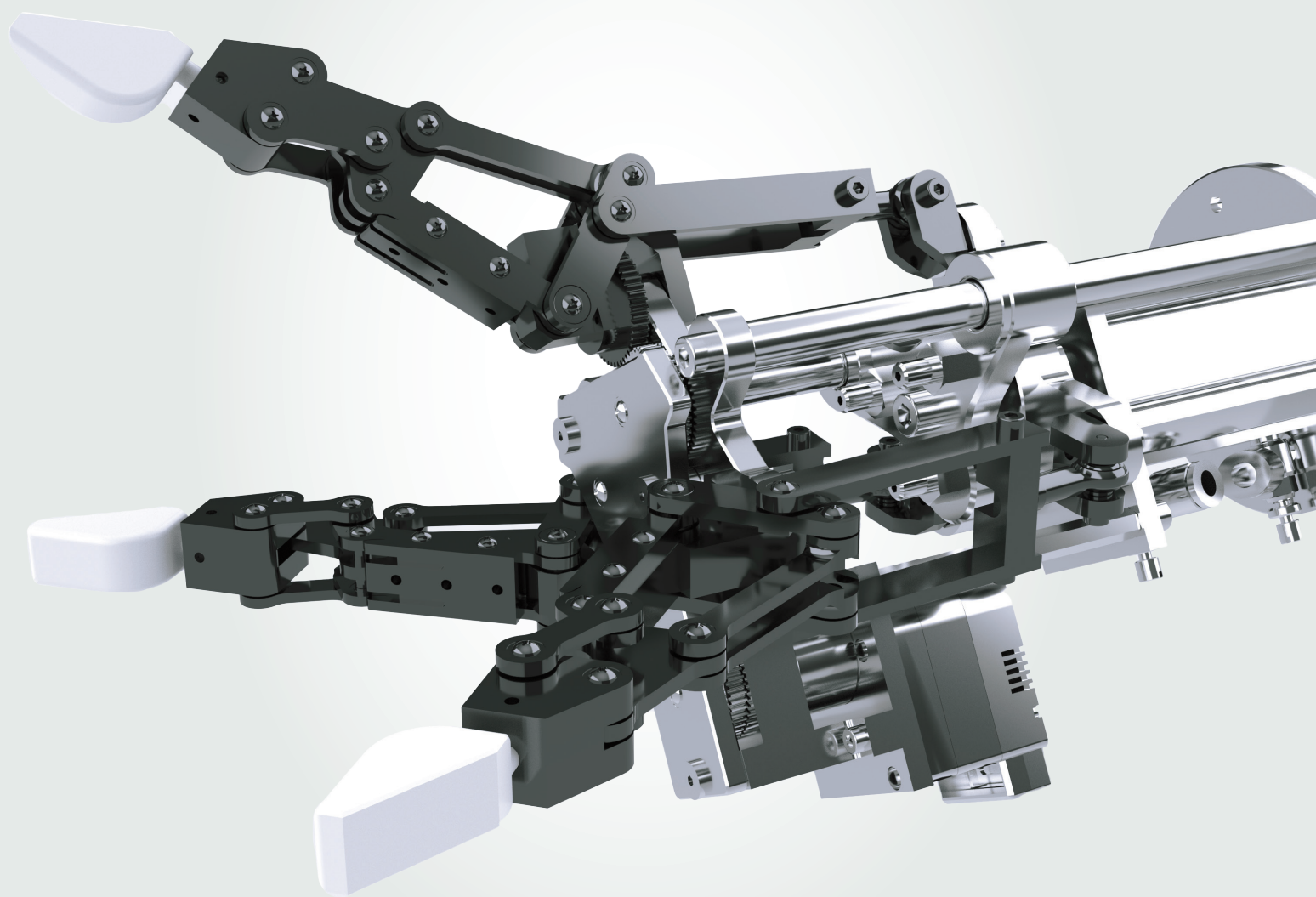


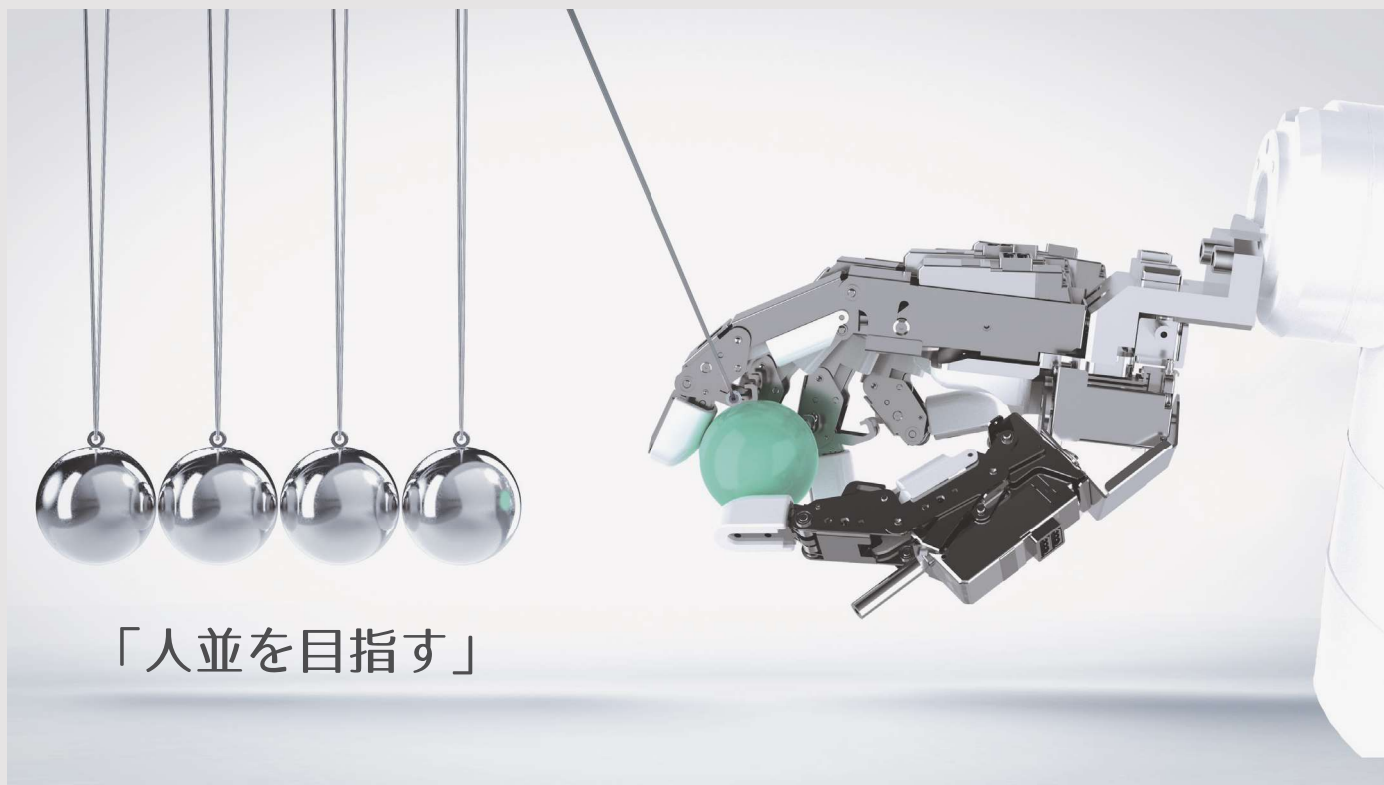
D-HAND

あらゆる物を掴む多指・多関節型ロボットハンド





劣駆動機構による軽量・コンパクト、低コスト、且つ多様な把持を可能にします。



「人並を目指す」

- ・ 耐久性
- ・ 堅牢性
- ・ 使い易さ
- ・ 拡張性
- ・ デザイン性

D-HAND は、汎用性のある多指・多関節型ロボットハンドです。

【働き方改革】独自のメカニズムにより、多様な対象物の把持が可能です。

センサレスでも複雑な形状のものを把持することができ、更には、その動作をあたかも人が反射的に行う様にスピーディーに行います。

これまで自動化が困難であった手作業をロボットに代行させることによって、人を労働集約型の作業から解放し、より人間らしく、創造的で質の高い仕事へとシフトするためのデバイスとなります。

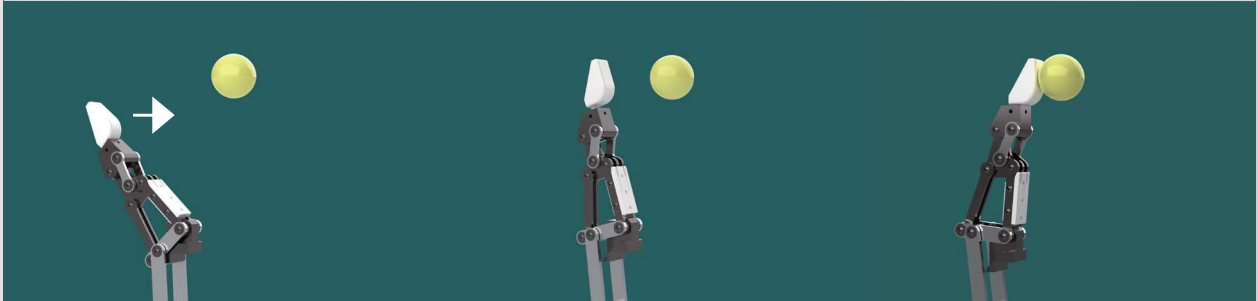
これまで把持できなかった対象物を扱うことができることから、大規模な工場への導入や、将来的には生活に密着したサービス業への拡張が可能になると考えています。

弊社の強みは、メーカーとして定型製品の納品に止まらずカスタマイズや試作、評価、受託開発までを請け負い、お客様の課題解決の最後までをサポートする、必要不可欠なパートナーとなり得ることです。

多様な形状に「なじむ」メカニズム

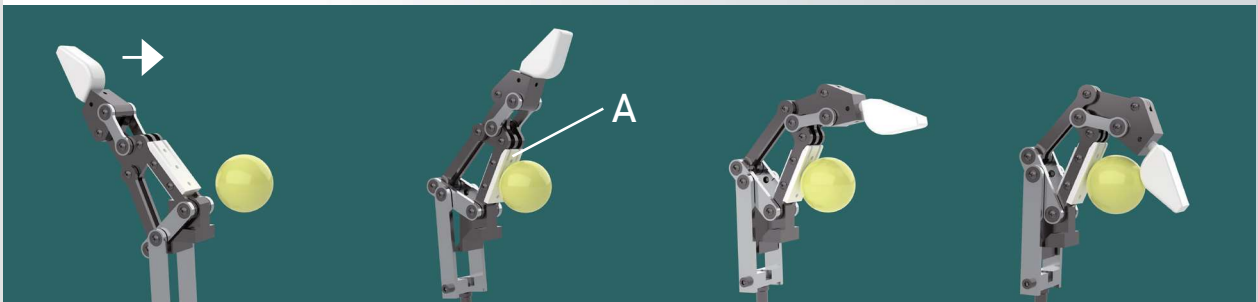
センサレスでも自動的、反射的に
複雑な形状の把持対象物に対応。

指のなじみ「つまむ」



初期状態では、モノを「つまむ」動作。

指の屈曲でなじむ「つかむ」



モノがAに接触すると、リンク機構により「つかむ」動作に。

指同士間で「なじむ」

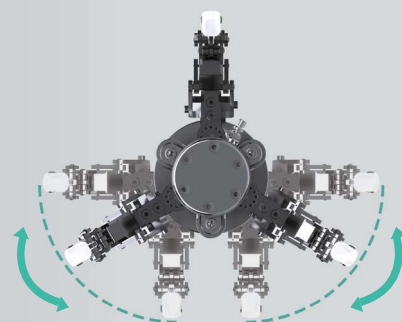
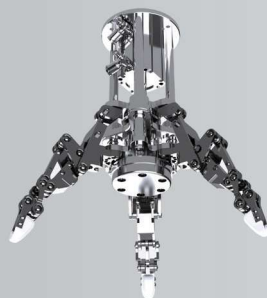
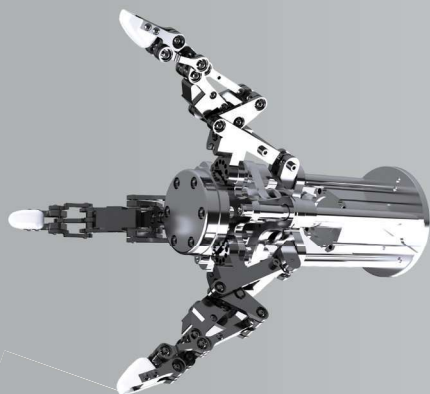


1点（B）が押されることにより、
それぞれの指全てがモノに接触する
まで動作し確実にモノを把持します。

特許取得

特許・実用新案を用いた知財を保有しています。

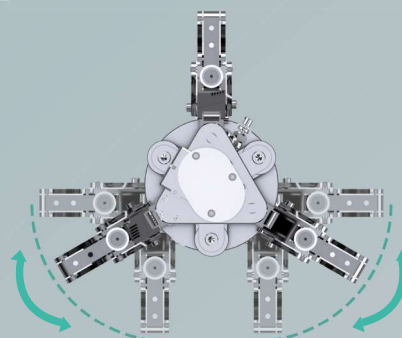
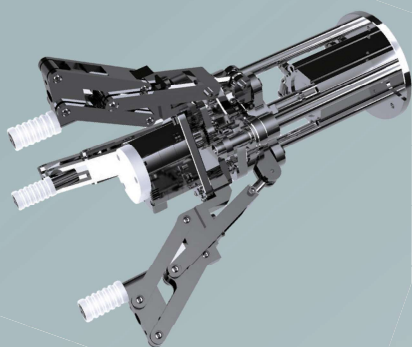
3 AG



3関節モデル。特に「つかむ」把持に適しています。

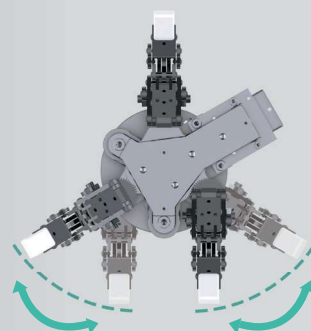
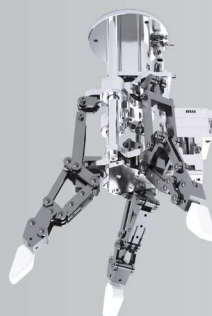
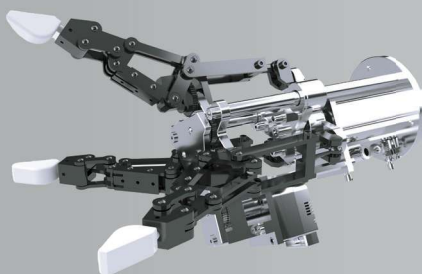
指の配置角度はオプションにより異なりますが変更可能です。

3 AP



平行接触把持モデル。特に「つまむ」把持に適しています。

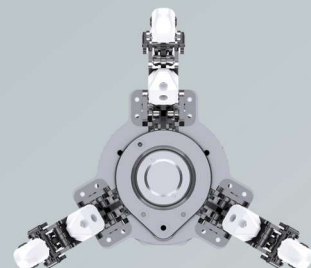
3 BG



3関節モデル。「つかむ」「つまむ」を両立。

ロック機構により、フレキシブルに掴んだ後、ワークの動きを抑えます。

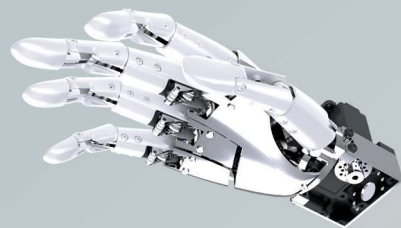
3 CG



アクチュエータを外部に設けてケーブルで駆動するタイプ。ハンドの軽量・コンパクト化、且つアクチュエータの高出力化を図れます。アクチュエータを含め引火機械要素をハンド部に使用しなくて済むため防爆仕様として採用実績があります。

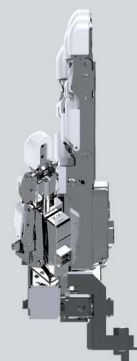
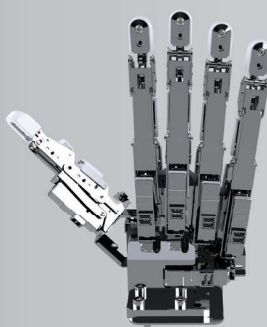
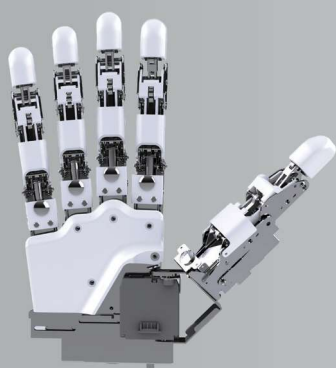
5 指ハンド

5 PT



1つのモーターで全ての関節を駆動させ、且つ把持対象の形状に倣った把持を可能としたモデル。

5 ST



各指独立駆動を取り入れたモデル。

お客様のご要望に応じた、特注ハンドを製作いたします。

継続的な開発パートナーとして
顧客課題解決のため、市場要望を反映、
改良、進化してきました。



Situations

大規模工場への導入
スマート農業への活用
物流業への応用
福祉現場への活用
宇宙で働くロボット



Delivery

物流業

物流倉庫、市場での荷役作業、AGVに設置。



Smart Farm

スマート農業

ビニールハウスや露地栽培での種まきから
農薬・肥料の散布、糖度センサーを搭載した
収穫作業のシステム化。



Factory

NC加工機への取付・取外し

複雑でいびつな形状を確実に把持することが可能。

多用途に対応する機構設計で
各社ロボットとの組み合わせ、カスタマイズが可能。

Space Industry

宇宙産業

今まで人間が行っていた作業や調整を代行・支援する。



Avatar

サービス業、福祉現場

今まで把持できなかった物を扱うことができ、アバターの作業範囲の拡大が可能になる。



ABOUT US



ロボット Sler として、システムのカスタマイズ提案が可能です。

お客様の用途やご要望に応じた機構をご提案できますので、
シンプルなものから複雑なものまで一度ご相談ください。

ロボットハンドとロボットビジョン、更にロボット Sler 能力を全て併せ持つ企業ならではの
ソリューションを提供いたします。

NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）を始めとした、国・県や公的機関・大手企業からの受託開発や
共同開発、事業委託等の豊富な実績を有しており、技術や製品開発力は第三者からも認められています。

ロボット・自動化実績が豊富な精鋭チームメンバーが技術開発を担っています。



<http://www.j-d.co.jp>

ROBOT Sler

ダブル技研株式会社

神奈川県座間市栗原 920-7

TEL: 046-206-5611 FAX: 046-253-7711

商品の外観・仕様などは商品改良のために予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。